

研究会のご案内

公益財団法人政治経済研究所
現代経済研究室

新年早々、非常事態宣言の再発動で、気の抜けない毎日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。次回研究会は鳥畑与一さんに「反緊縮政策と現代貨幣理論」と題するご報告をいただきます。

コロナ対策、経済再生、気候変動対応など、世界各国で巨額の財政出動が行われている中で、「現代貨幣理論(MMT)」に対する漠然とした期待や幻想がふりまかれています。そのような中でいま、この「理論」に対する科学的根拠に基づいた議論と判断が求められています。

鳥畑さんは、雑誌『経済』(昨年10月号)で論文「現代貨幣理論(MMT)は積極財政の根拠たりうるか」を発表され、「現代貨幣理論」の理論的検証を行っています。

今回の研究会で鳥畑さんは、「現代貨幣理論」はいま新自由主義の財政均衡主義克服や新型コロナ対策の財政出動など反緊縮政策の理論的支柱となりつつあるが、それは現代資本主義の危機を乗り越える理論的武器たり得るか、という問題設定でご報告の予定です。

皆様のご参加をお待ちしています。オンライン参加も可能です。後日ホームページでZOOMミーティング参加の方法に関する案内をアップします。

記

- 一、日時 2月22日(月)午後2:00~4:00
- 一、報告者 鳥畑与一さん(静岡大学教授)
- 一、テーマ 「反緊縮政策と現代貨幣理論」
- 一、場所 公益財団法人 政治経済研究所 1F 講和室

2021年1月23日

現代経済研究室長 合田 寛